

CONTENTS / 目次

広報かのや No.316 March 2019

- 04 届けたいお菓子のものがたり
- 10 温故写新／カノヤタイムトラベル
- 11 夢のかけはし「須山 向陽 さん」
- 12 みんなの Hot News
- 14 あなたの創業を支援します
- 18 知って役立つ情報掲示板
- 22 すこやか直幸便／
休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 23 スゴいぞ！〇高／おしごとの時間
- 24 市民のひろば
- 25 みんなのフォトネタ
- 26 カノスポ
- 28 プレゼント・映画情報



「なんこ珠」とは長さ10cmほどの木の棒。

今月のカバー



らくがん 落雁をかたどる「菓子木型」

入学・卒業式や記念日などのお祝い事の日に、紅白の落雁（もしこ・もひこ）を配る光景が、昔はよく見られました。写真は、米粉や砂糖で作る落雁をかたどるための「菓子木型」で、数十年前に市内の老舗菓子店で使われていたもの。たくさんの人に、慶びと彩りを与えた、お菓子にまつわる道具です。



今年1月14日に開催。激しい勝負が繰り広げられ、会場は熱気に包まれていました。

「地域対抗招福なんこ大会」実行委員会

「なんこ」とは南九州地方に古くから伝わる酒席の遊び。向かい合う2人がなんこ珠を3本ずつ持ち、そのうち何本かを手に隠し持って台の上に出し合い、両者の合計の本数などを言い当て勝敗を決めます。この大会は「なんこ」文化の継承と地域の結束力を高めることを目的に開催されており、今年で15回目。20代から70代までの幅広い年代で形成された16チーム約160人が参加するなど、地域交流の場としても親しまれるようになりました。久野清志会長ら実行委員会のメンバーは、会場設営や大会運営などの裏方に徹し、「なんこ」を楽しめる場をコーディネートします。単純なようで奥が深い「なんこ」。ぜひ皆さんも一度遊んでみてはいかがでしょうか。